

カンチレバー式剛軟性試験機

Section. 31

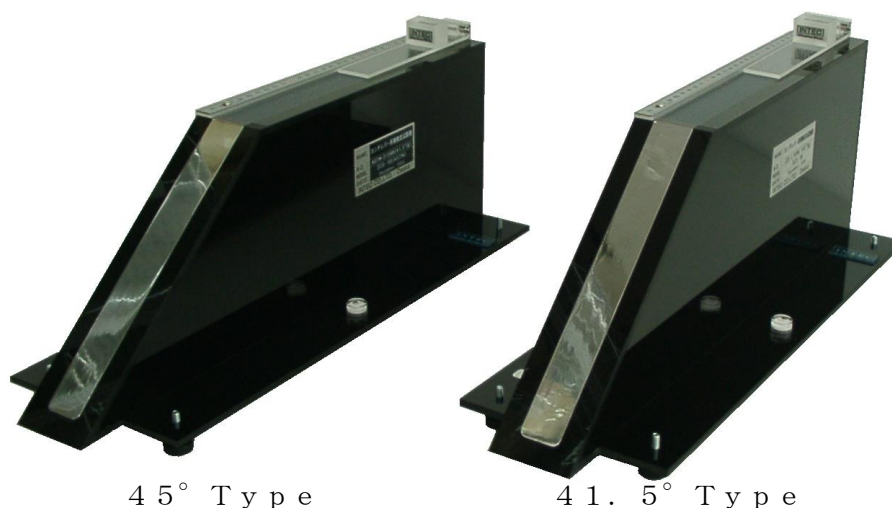
Cat. No. TA-7

＝概要＝ 本機は、JIS L 1018 (ニット生地試験方法)、L 1084 (フロック加工生地試験方法)、L 1086 (接着し生地試験方法)、L 1906 (一般長繊維不織布試験方法)、L 1913 (一般短繊維不織布試験方法) 及び L 1096 (一般織物試験方法) 等に規定されている生地の剛軟性(カタサ、シナヤカサ)を測定する試験機で ISO 規格にも規定されています。
又、ASTM D 1388 に規定されているものも取り揃えております。

＝試験方法＝ 一定の状態の試験室に放置し、1時間以上の間隔で質量をはかり、その前後の質量の差が、あとの質量の0.1%以内となったときの試料の状態の試料から、2x 約15cmの試験片をたて・よこそれぞれ5枚採取し、一端が45度の斜面をもつ表面の滑らかな水平台の上に沿って試験片を置き、試験片の一端を水平台の斜面側の一端に正確に合わせ、試験片の他端の位置をスケールで読みます。次に試験片を45°の斜面の方向に緩やかに滑らせて試験片の一端の中央点が45°の斜面と同一な面に達したとき、他端の位置(mm)をスケールで読み取ります。剛軟性を示す剛軟度は試験片が移動した長さで示され、各々5枚の表裏をはかり、たて・よこそれぞれの平均値で表します。(整数位まで)

＝仕様＝

型式：	45° Type	41.5° Type
傾斜角度：	45° (JIS 規格)	41.5° (JIS L1913, ASTM 規格)
試験布幅：	20 mm	
試験布長：	150 mm	
寸法：	約200W×500D×150Hmm	



*改良の為、仕様・外観は予告なく変更する場合があります。